

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和6年度 第1回鳥取市地域福祉計画・地域福祉活動計画 作成委員会
開催日時	令和6年5月20日（月）10:00～12:00
開催場所	鳥取市役所本庁舎 6-5・6-6会議室
出席者氏名	別紙（委員名簿）
欠席者氏名	山本委員、林委員、西井委員
事務局職員氏名	藏増福祉部長、山内地域福祉課長、大島地域福祉課参事、清水地域福祉課 課長補佐、西谷地域福祉課主幹、山名地域福祉課主事、川口中央人権福祉 センター所長、岡部中央人権福祉センター参事、松本長寿社会課長、増田 長寿社会課課長補佐、枅谷障がい福祉課長、藤木中央包括支援センター所 長、小森協働推進課長、森田こども家庭センター所長（以上、鳥取市）、 松本地域福祉課長、城野地域支え合い支援課長、株本地域支え合い支援課 主査、小田原地域福祉課主任（以上、鳥取市社会福祉協議会事務局）
会議次第	1 開 会 2 福祉部長あいさつ 3 委員自己紹介 4 委員長及び副委員長の選任について 5 委員長及び副委員長あいさつ 6 議 事 （1）次期計画の策定に係る考え方について（資料2） （2）今後のスケジュールについて：（資料3） （3）アンケート調査結果、数字から見る鳥取市の地域福祉の現状と 課題について（別紙1、別紙2） 7 その他 8 閉 会
配付資料	資料1 鳥取市地域福祉推進委員会・鳥取市地域福祉活動作成委員会 設置要綱 資料2 計画の策定に関して（資料2-1） 関係計画の計画期間（資料2-2） 地域福祉に関する近年の国や制度の動きと鳥取市の動き （資料2-3） 資料3 スケジュール予定 追加資料 地域福祉に関する意識調査から見た鳥取市の現状と 今後の地域福祉推進の課題 別紙1 鳥取市地域福祉に関する意識調査結果概要 地域福祉に関する意識調査（報告書）

	<p>地域福祉に関する意識調査（その他意見・自由記述）</p> <p>別紙2 数字で見る鳥取市の状況</p> <p>その他 次第、委員名簿、座席表</p>
--	---

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・部長挨拶 ・出席者の確認 ・委員自己紹介 ・委員長・副委員長選出（委員長：坪上委員 副委員長：竹本委員） ・委員長・副委員長あいさつ
坪上委員長 （進行）	議事（1）次期計画の策定に係る考え方について（資料2-1～3）及び議事（2）今後のスケジュールについて（資料3）の説明をお願いします。
事務局	資料2-1～3及び資料3説明
坪上委員長 （進行）	事務局の説明をしていただきました。意見や質問等あれば伺いたい。
委員	意見・質問なし
坪上委員長 （進行）	それでは時間の都合がございますので次に進みたいと思います。 続きましてアンケート調査の結果、数字から見る鳥取市の地域福祉の現状と課題について事務局から説明をお願いします。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料別紙1、別紙2説明 <p>※事務局説明後、D委員が追加資料をもとに補足説明</p>
坪上委員長 （進行）	それでは、今の説明の中で各委員の視点から鳥取市の地域福祉の現状と課題についてご発言ありますでしょうか。
C委員	<p>社会変化の動向の中で、どこの自治会も加入率が減ってきているということがあります。私も自治会長をさせていただきましたので、自分の経験としてですが、今の自治会の組織自体が、とても若い人が入りにくい組織になっていると思います。高齢の方がしているのが悪いというわけじゃないのですが、これからは若い人にさせて、それで若い人がどういう発想をしていくか、それを経験者はサポート役になって、いろいろとサポートすればいいじゃないかと思います。うちは若い方が仕事をしながら、自治会長になってやっております。そうすると若い人も結構自治会に入っておられます。</p> <p>あとボランティアですが、時間がある人がすればいいじゃないかというような言い方をよくされていますが、そうではないと思います。やはりこれからの福祉を考えたとき大きなくくりではなく、やはり地域、地区ではなくて地域、ここを強化していかないとたないのではと思います。</p> <p>これだけ少子高齢化になってきている中で、また障がい者もですね、いろんな病気の方もおられる、それからまた認知症の方も増えていく。そういう中で、やはり大きなくりなことをやっていると、制度だけでは追いついていかないわけです。</p>

	<p>よね。そうなると地域を強化していく必要があると思います。大きくりじゃなくで小さいところで。先ほど防災訓練も人が少ないって言われましたけれど、うちの地区ではみんなが出てきます。なぜかという、支援が必要な方が特に出てもらわないと困りますから。だから、防災とか、それから何かの道路のボランティアなども出てもらっていますし、顔を見合わせてみんなが元気というような形をとっています。だからそういう地域の強化ということが必要だと、私は自分が経験して感じているところです。</p>
坪上委員長 (進行)	<p>ただいまの意見ですけれども自治会の加入率が非常に下がっているということや、高齢化してきているというようなご意見でしたが、これに関して、事務局の方で何かありますか。</p>
事務局	<p>自治会加入の低下は、ここ近年といいますか、もうずっと以前から低下傾向が続いておまして、これも一つの市の課題ということで捉えております。これから地域福祉を進めていくにあたっては、こういった自治会への参加であるとか、町内会活動に興味を持って参加していただくようにはどうしたらできるのかということもこの地域福祉推進計画を考えていくうえでは、決して別物ではなくて一緒に考えていかないといけないという意識は持っております。</p> <p>あと、防災のこともおっしゃっていただきましたが、地域共生社会を進めていくうえで、地域の防災力ということの一つのテーマにしてですね、今ちょうどいろいろな関係課とか関係団体で話し合いを進めていこうとしているところです。</p> <p>近年、災害がいたるところで発生しておまして、特に昨年は台風7号ということで、南部地域に大きな被害がありました。そういったことをきっかけに、やはり住民の皆様も災害に関しての関心が高くなっています。こういったところをとらまえて、みんなが地域の中で支え合ったり、助け合ったりすることを防災ということ 키워ドに考えていけるような、そういった仕掛けづくりをいろいろこれから考えていきたいなと思っています。</p> <p>ぜひ皆様方にも、そういった部分でもこの計画もですが、地域防災力ということテーマに、どんなことをしたらいいのか、いろいろとご意見が頂戴できたらありがたいなと思っております。</p>
坪上委員長 (進行)	<p>まさに今おっしゃられたようなことが、鳥取市が目指している地域共生社会を実現するということの一番コアになってくるころだと思います。こういったことを皆さんでまた考えていきたいということになると思います。</p>
S 委員	<p>先ほど意見がありましたが、私も自治会長経験者です。それで昨年ですが、自治連でアンケートをとらせていただきました。今、D委員が言われたようにこの答えは二つとも自治連のアンケートにも出てきておりますけれども、鳥取市の町内会は全部で826町内会ありまして、773町内会からアンケートの回収が出来ました。回収率は全体の94%ぐらいです。それで、その中でちょっと気になったのは、町内会の規約があります。これがないところが142町内会とアンケートを取ってみたら結構あることがわかりました。</p> <p>古い人には無くても分かると思いますが、やっぱり若い人がいろんなことに取り組んでいくときに、何かその一つの線引きというか規約がないと何もできないというようなことで、ちょっとそのことが問題になっておりました。</p>

	<p>それから総会も行っていないところが15町内会ありました。ですからお金を集めても、報告も何にもなしというような、どうなっているかわからない町内会が15町内会あるということです。</p> <p>それでいろいろありましたが問題になっていますのが、町内会の運営の困り事ということで、役員のなり手不足と高齢化、それから若い世代の参加が少ないというようなことがあります。</p> <p>それから町内会活動をするために問題になっているのが、世帯数の減少、町内会の集会所がないということがあります。集会所がないから活動ができないというのがありますし、行政からの依頼業務が多いということがあります。あと民生委員のなり手が全くいない。それからもう一つは交通安全の指導員です。この二つは、もう本当になり手がいないというのが現状です。あと空き家対策も大きな問題となっております。</p> <p>とにかくいろんなことが問題として出ていますけれども、やはりこれからの町内会、地区をどういうふうにやって行くのかが大きな問題になっています。</p> <p>それと子供が少なくなってきました。桜ヶ丘校区でも、ある地区では昨年生まれた子どもが9人ぐらいしかいないということも聞いております。我々、団塊世代の時は年間で250万人ぐらい生まれてくる時代もありましたが、今は80万人を割っている時代になっています。これからの人口減少問題はどうなるだろうと、私が一番心配しているのはこの状況です。</p> <p>本当に各町内会でいろんな問題があると思いますけど、委員の皆さんも考えていただいて、やっていかないともうやれない時代になってきています。</p>
坪上委員長 (進行)	<p>自治会とか町内会に関する様々な課題を提示していただきました。確かに規約がないということで、なかなか活動を推進していきにくいですとか、若い人が入りにくい状況が出てきているということがわかりました。</p> <p>事務局の方で、町内会を推進していくための方向性とか指導というようなことは何かありますか。</p>
事務局	<p>先ほどからお話が出ております町内会に加入される世帯が少なくなってきたり、あるいは自治連に加入される町内会が少なくなってきたりというようなところのお話でしたが、市町村合併した20年前には自治連加入率は大体70%ぐらいありました。しかし近年ではだんだん減少していて60%程度というような状況になっているところがございます。</p> <p>理由としては様々あるかと思いますが、やはり先ほどS委員が言われたように役員さんのなり手が無く、なり手が無いのは色んな負担感が大きいというようなことがありまして、要因の一つにもなっておりますが、市からのお願い事項が多いということで、そういったところは市としましてもお願い事項を減らしていこうというところで、福祉の関係で言いますと民生委員さんにお問い合わせするような事項もなるべく減らしていこうということで福祉部門でも見直しがされているところでございます。</p> <p>D委員のお話にもありましたけども、地域の住民の方で関心が高いのは、やはり地域防災それから福祉の問題と子育て、それがやはり三つの大きなテーマとなっております。</p>

	<p>各地域の住民の方と意見交換をさせていただき未来づくり懇談会という会を開催させていただいているところでありますが、やはりテーマとして挙げられるのは防災・福祉、これはどこの地域でも大きな課題に思っておられるテーマになります。</p> <p>福祉とか防災とか子育て、そういったテーマを複合的に地域として取り組んでいただいて、なるべく参加をするハードルを低くして、なるべく多くの方や幅広い世代の方に参加をしていただく、そういった取り組みが必要なのかなと考えております。そういった取り組みを通して仲間を作っていくって地域の活動を活発にしていこうというようなことが必要だと考えております。</p>
C委員	<p>少し要望になりますが、公民館がコミュニティの場として機能しているところもあれば、全くしてないところもあると思います。限られた人しか公民館に行く機会がないという状況はどうなのかなと思います。</p> <p>やはり、地域の拠点としてそういう機能が実際にはないということは、それだけやっぱり公民館にも改革が問われると思います。誰でも来られる敷居の低い、そういう役割をしていただきたいと思います。だから計画の中に入れていただきたいという要望です。</p> <p>あと、事業所に少しこれも要望ですが、ケアマネさんのスキルをもう少し上げてもらいたい。いろいろな知識を持って、福祉のいろんな器具も進歩していますし、食べる物もすごく進歩している。そういうことをやはりレベルアップするようなこともやっていかないと、孤立してしまうことになるので、その辺のところも要望したいと思います。</p>
事務局	<p>公民館は市内に 61 公民館がございますが、これまでは生涯学習の拠点という形で社会教育の拠点施設として運営をしておりましたが、近年特に地域づくりの活動も公民館を通してされたいというような状況がございました。</p> <p>そのあたりを整理させていただきまして、昨年度条例をこれまでの公民館条例から部局も教育委員会から市長部局に移しまして、この 4 月から新たに地区公民館の設管条例を制定いたしまして、これまで営利目的の活動は使えなかったのですが、営利目的にも使っていただけるという内容に変更しています。ただ使用料を払っていただくという形で使っていただくこととなります。それから地区外の方でも使っていただけるようになりましたので、幅広く使っていただくような両方のカバーをしております。そういったことで多様な主体が、地区公民館を使っていただいて地域づくりにも関わっていただくというような環境を整備させていただいたところでございます。</p> <p>ただそれだけでなく、もう少し公民館の機能を多機能にしていき、いろんな地域の住民、それから NPO ですとかそういったいろんな主体が防災とか福祉とか子育てというようなことに関わっていただけるようなそういう公民館の機能を強化していきたいと考えているところです。</p>
J委員	<p>D委員のお話しにもありましたが、孤立化の問題は大変進んでいるというふうには認識してございまして、そのために家庭支援が必要ということと、その家庭をどうやって発見するのかというのがやはり課題だと思います。</p> <p>家庭の方からも知識がないため、市役所等への相談がないという状況も考えら</p>

	<p>れますし、やはり、発見するためには、アウトリーチが重要ではないかと思っています。家庭によっては大きなお世話かもしれませんが、アウトリーチによって積極的に出ていって家庭の課題とかを把握しながら、必要な支援を考えていくということが大変重要かと思っています。</p> <p>また、虐待ではありませんけども、通報制度といったように繋ぐ人が家庭の問題状態を把握したら、例えばどこかに通報して、その通報をもとにアウトリーチをしていくといったようなことも重要かと考えています。</p> <p>また、地域住民の中では、特にアパートとかマンション、そういったところに住んでいる方々については、地域との関わりが少なく、非常に希薄な関係になっていることが考えられて、こういった方々を巻き込んでいかないと地域福祉の向上には繋がらないのではないのかなと思っています。</p> <p>またつながりサポーターを養成されていたり、民生委員さんもおられますが、福祉となるといつもボランティア精神ということで支える方をお願いされているのですが、もうそろそろ限界じゃないかと思っていまして、ある程度の報酬とかそういったものを受給して仕事として、そういった繋ぐ人を養成していくということも、これからは考えていかないといけないかなというふうに考えている次第です。</p>
C委員	<p>福祉はボランティアで支えるしかないと思っています。高齢者の人も今までお世話になっているのだから、元気な人は高齢者だろうが、貢献していかないといけないと思います。高齢者だからといって甘えていたら駄目だと思います。</p> <p>やはりそういうボランティア精神というか、今まで自分がお世話になった分、返していくというそういう精神がなければ、ボランティアなんて馬鹿らしいという感じになってしまうと思います。</p> <p>これからは、高齢者が高齢者を支えたり、認知症の方がたくさん増えていくわけで、中には人に頼ったりするのは恥ずかしいとかいろんなことを考えたりする人がいると思います。そういう人でも受け入れて支えていけるような、そういう精神がないといけないと思います。</p> <p>それから、要望になりますが、在宅の方や1人暮らしの方などが、気兼ねなく気軽に参加できるような地域の組織を作ってもらいたいという思いがあります。</p>
事務局	<p>実際に地域でお住まいの方々はいろんな方がいらっしゃいます。先ほどD委員のお話もありましたし、委員の皆様からのいろんなご意見等もいただきました。</p> <p>地域におられる方にいかにどう協力をお願いするかとということも含めて、地域福祉をどう進めていくかということですが、確かに人がいなくてはいろんなものが進まないですし、もちろんお金も当然必要かと思っています。そういったところで、限られた資源等をいかに活用していくかということも、この計画で考えていかないといけないところなのかなというふうに思っております。</p> <p>地域にいらっしゃる方の思いを全部汲み取ってというのはなかなか難しいかと思いますが、私達が進めていかなければならない地域福祉というのは、本当にどういったものなのだろうかということ、今一度考えていかないといけないと思っております。</p> <p>今回進めておりますいろんな事業等も過渡期というか、様々な課題を抱えてい</p>

	<p>る状況でございますので、そういったところを踏まえて、本日委員の皆様からいただきましたご意見等を参考に考えて行きたいと思えます。</p>
E 委員	<p>私は鹿野に住んでいまして、気高町エリアのいろんな会議に出席させていただいているのですが、やはり担い手不足というのはあるのですが、仕事をしながらでも LINE などを利用して、働いている方たちが日々意見交換などをしており、うまく活用しているなあと感じることがあります。こういう ICT 技術の活用がこれからは必要なのかなと思えます。</p> <p>あと、こういう会議の場では、色んな意見があるとは思いますが、話しやすい雰囲気作りが大事だと思います。</p>
D 委員	<p>ボランティアについてのご意見が出ましたので、少し私見も含めて、今どうなっているのかということをお話したいと思えます。担い手を増やしていくその中で、ご活動いただくのはボランティアとして、特に無償でお仕事をしていただくというのが前提で私も担い手づくりということをお話したつもりではありますが、ボランティアさんがやはり気持ちよく活動していくためには、それを調整する役割の方が絶対に必要になってきます。</p> <p>近年、私もあちこち回っていて、一つの傾向として、地区ぐらゐの単位で福祉を推進していく組織というものがしっかりと作られているところが多いです。</p> <p>例えば鳥取市でしたら、まちづくり協議会という組織があります。そこは地区社協を包含するような組織になっておりますけれども、例えば南部町でしたら、地域振興協議会という、鳥取市まちづくり協議会のような組織があつてそこがまちづくり、人づくり、そして福祉も含めて総合的な地域づくりを行っています。そこでは福祉機能を高めようということ今頑張つて担い手づくりを一生懸命やっています。その中でやはり一番大きな課題は、人を増やそう、活動を活発化させましよう、言うのはたやすいのですが、それを誰がどうやって調整するんだという話に結局突き当たります。</p> <p>なのでそこをボランティアの方をお願いするのはさすがにしんどいという結論に至りまして、そこは行政が腹をくくつて、福祉コーディネーターを配置するというふうにしました。これは八頭町もそうです。八頭町もまちづくり委員会という組織を立ち上げて、そこがうまく回っていくように毎月、集落支援員という形で雇用をし毎月 10 万円ぐらゐの給料が出るというそういう形で福祉コーディネーターのお仕事をしていただいています。もちろんそこには事務的なお仕事も絡んできますので、皆さんが気持ちよくボランティア活動するための下支えと調整を福祉コーディネーターさんが行っています。</p> <p>雲南市とか、あるいは兵庫県の豊岡市などもそういう組織づくりをやっています。やはり、有償の職員をしっかりと配置する。それは従来の公民館の主事だけじゃ駄目だと思います。プラスで、福祉の活動を調整する福祉コーディネーターという形で増員を図るべきだと思います。こういう形を取っていくとうまく回っていくと、私もいくつかの自治体を見て思っています。</p> <p>折しも鳥取市は規模が大きいので、そんな簡単に進められるものではないということは重々承知ですけれども、今後 2040 年 50 年に向けて持続可能な地域づくりを考えたときに、ボランティアを支えるスタッフをきちっと配置するというこ</p>

	<p>とも考えないといけないのではないかと思います。</p> <p>今の公民館主事の方にプラスアルファで仕事をしてくれというのはなかなかしんどいと思います。それは主事の方の雇用状況を見ていても思うところがあります。ですので、そこを含めてですねやっぱり考えていく必要があるのではないかなというふうに思っています。</p> <p>それとあともう一つ有償ボランティアという考え方が日本にはあるということも少しご紹介しておく必要があるのかなと思っていまして、やはりキリスト教文化圏は一生懸命ボランティアをする人が多いのは事実でありまして、私も海外に行くと例えば女性の方が重い荷物を持って階段を登ろうとすると、さっと人が集まってきて荷物を持ってあげるとか、いろんな形でバリアを越えていく姿を何度も目撃しています。これはすごいなというふうに思うわけですが、日本は国民性もあってなかなかそこがうまく表現できない人が多い中で、やはりボランティアが必要だけれども人がなかなか集まらないというところを有償ボランティアという形でお手伝いしていただく方に、実費弁償費分のお金を支給しましょうという形は、日本だったらあってもいいのかなと私は思います。ただそれで金儲けをしようというものでは決してないはずなのです。</p> <p>ガソリン代だとかいろいろ諸経費としてかかるお金を有償ボランティアという形で手に入れるというのは、もう 1980 年代ぐらいから 40 年ぐらいにわたって日本では定着してきているものでもあります。例えばシルバー人材センターもそうした仕組みの一つでありますし、多様な形でボランティアに参加ができるというところは重要なのかなと思って話を聞かせていただきました。</p>
坪上委員長 (進行)	<p>時間がもうかなり差し迫ってきております。委員の皆様から沢山のご意見をいただきました。ありがとうございました。</p> <p>次期計画を作るにあたり、何をしないといけないのか、何をすべきなのか、今やっていることが本当に適切なことなのかということのを少し整理していかないといけないということがありました。</p> <p>それでは議事 4 のその他について事務局の方からなにかありますか。</p>
事務局	特になし
坪上委員長 (進行)	<p>そうしますと、予定されていた議事は全て終了しました。議長の任をおろさせていただきます。</p>
事務局	<p>先ほど説明の中でスケジュールについても少し触れさせていただきましたが、第 2 回目のこの委員会につきましては、専門部会という形で、開催したいと考えています。</p> <p>日程は、7 月 22 日 (月曜日) と 23 日 (火曜日) の午前、あるいは午後ということで 4 コマ時間帯が取れますので、そのうちの 3 コマを利用して 3 分科会を開催したいと思います。部会が重ならないようにといったようなことで開催を予定したいというふうに考えを持っております。</p> <p>また改めて開催の案内はさせていただきますが、先ほど申しました 7 月 22 日あるいは 23 日のいずれかで決めさせていただきたいと思いますので、委員の皆様方におかれましては予定をしておいていただけたらと思います。連絡としては以上でございます。</p>

事務局	<p>本日は、大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。</p> <p>今日は第1回目ということで、先ほどE委員さんからもありましたが、なかなか意見も言いにくい雰囲気もあったかと思えますけれども、次回は専門分科会ということで、人数を絞っていろいろご意見が自由に言いやすいような雰囲気を作っていきたいと思っておりますので、どうぞ今後ともよろしく申し上げます。</p> <p>本日はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。</p>
-----	--